

健康友の会みみはらは、地域の皆さんに支えられて 2024年11月17日 40周年を迎えます

# 「友の会の40年を振り返り、未来を展望する」〈第11回〉

## 高石診療所開設（1997年）と友の会

1997年オープンした高石診療所は、地域の医療要求で、友の会を拡大し、地域の会員さんと共に立ち上げ、育ててきた診療所です。友の会との距離が最も近い診療所でもあります。年末の大掃除も職員と友の会の合同で、毎年高石友の会まつりにも取り組んできました。高石診療所は、2024年6月に医療機能を鳳クリニックに統合します。高石地域の健康づくり、まちづくりに果たす友の会の役割はますます大きくなります。



1997年開設 高石診療所



年末の大掃除



玄関前行動



友の家きらら開所式(2014年5月)



高石友の会まつり(2019年)劇団松葉



### 建設準備の御苦勞を 中川正夫さんに お聞きしました

◀中川正夫さんと  
篠原壽美子看護師長

大阪から現地の鹿児島県瀬戸内町・加計呂麻島に移り住んで20年になります。耳原高石診療所建設時には私と看護婦さんの二人で建設準備を始めました。二人での建設準備なので、友の会の会員さんや地域住民を訪問し医療懇談会などを案内しながら、会員拡大や班結成を繰り返し、組織づくりに重点を置いてきました。

友の会の会員さんが1000世帯を超えた段階で「とも」の地域版「ニュース高石」を発行し、一度に多くの人に診療所建設に向けての要望や意見、建設の到達点、私たちの伝えたいこと等々を会員さんとキャッチボールすることができました。

2年近くキャッチボールを続けながら会員さんが2000世帯となったのを機に、耳原友の会高石支部を結成し、その後耳原高石診療所開設にこぎつけることができました。また同時に2000万円を超える建設資金の協力もお願いできました。

友の会機関紙「とも」と「ニュース高石」が診療所建設に大きな力を発揮したことは言うまでもありません。今も「たかいし」が引き続き発行されているのをうれしく思います。

耳原高石診療所 元事務長 中川正夫

## 介護 の現場から ③1

耳原訪問看護ステーション  
管理師長

中山富有美

訪問看護に、連絡があまりありません。訪問看護に、連絡があまりありません。訪問看護に、連絡があまりありません。

訪問看護に、連絡があまりありません。訪問看護に、連絡があまりありません。訪問看護に、連絡があまりありません。

訪問看護に、連絡があまりありません。訪問看護に、連絡があまりありません。訪問看護に、連絡があまりありません。

### 自宅で安心して過ごせるよう 思いに寄り添いながら

訪問看護が開始にな

訪問看護が開始にな

訪問看護が開始にな

訪問看護が開始にな

全日本民医連・大阪民医連結成70周年 共済会40周年 記念特別公演

赤ひげ

山本周五郎・原作 田島宗・脚色 十島英明・演出

新出去之・嵐 圭史

2024年3月17日 午後2時 開演 (午後1時半 開場)

エル・おおさか

チケット代(全席自由席) 2,500円 (一般 5,000円)

チケットのご購入は、健康友の会みみはら事務局 電話 072-244-8061 まで